

文字を声に！視覚障がい者に情報を！！

功労者

■ 団体名・氏名

あけぼの音訳グループ

■ 基本データ

継続年数	42年間
主な連携先	社会福祉協議会、特別支援学校
団体の規模等	7名

対象	視覚障害
活動分野	学習 文化芸術 スポーツ 情報保障 普及啓発 その他

活動の概要

視覚障がい者の音訳ボランティアとして、市広報、市議会だより、市社会福祉協議会だより、ごみ収集カレンダーを音訳しています。また、音訳技術を生かして、特別支援学校の児童生徒を対象に絵本などの読み聞かせを実施しており、視覚障がい者に限らず、障がい者への情報保障の支援活動の場を広げています。

■ 活動内容

あけぼの音訳グループは、広島県大竹市において、地域で唯一の音訳ボランティア団体として活動しており、現在、視覚障がい者の要望の多い、市広報（毎月発行）、市議会だより（年4回発行）、市社会福祉協議会だより（隔月発行）、ごみ収集カレンダーの内容を読み上げて録音し、市内の利用者に郵送しています。また、依頼に応じた音訳活動や、令和4年からは、音訳技術と視覚障がい者との交流経験を生かして、特別支援学校の児童生徒を対象に、絵本などの読み聞かせ活動を定期的に継続して実施しており、視覚障がい者に限らず、障がい者への支援活動の場を広げています。

音訳ボランティアは「必要としている人がいる限り続けたい」という思いで継続し、昭和57年以降、40年以上にわたり、視覚障がい者への情報保障の支援活動を続けています。

今後も、音訳活動を継続しながら、視覚障がい者への支援活動に限らず、必要とされる場があれば、更に活動を広げていきたいと考えています。



写真1 会員の集合写真

■ 活動の経緯・体制

昭和57年に、点字に習熟していない中途失明者の要望を受けて発足しました。

現在、大竹市民の会員7名で、視覚障がい者への情報保障の支援活動を行っています。

団体内で勉強会を隔週で実施したり、各種研修会に参加したりして、音訳技術の研鑽に熱心に取り組んでいます。また、市社会福祉協議会の行事にも参加して、音訳ボランティアの周知啓発にも取り組んでいます。

■ 活動の工夫・成果

利用者と意見交換を実施し、音訳に反映させる努力をしています。「ゆっくり」「はっきり」「大きな」声で音訳することを非常に重要なポイントとして常に意識し、勉強会で確認しながら、温かみのある音訳を届けています。また、音訳には広報紙ごとにそれぞれ2日程度の時間がかかり、8月には三つの広報紙の発刊が重なりますが、会員で分担して音訳し、3日以内に完成させるなど、利用者に早く届けることを意識しています。



写真2 音訳活動の様子